

第1号議案 I. 平成24年度事業活動報告

1. 事業の成果

(1) NPO法人は、設立発起から満5周年を迎えます。

住吉川の清掃から始め、川の水をきれいにして、まちの再生を考え、地域の資源を活用した仕組みを考えることは、それが特徴的な成長ポンプとなり、まちの再生が出来るのではないかと考えました。

まちの再生や資源を活用した仕組みを提案するには、成果を挙げることが説得力になります。一昨年の6月5日和田川の本木内科の親水公園にゲンジボタルが飛翔しました。

ホテルの幻想的な光の乱舞を見て心を動かすことができ、まちの再生と賑わいを取り戻すことができるかも知れないと思いました。

昨年6月5日から10日まで「ホテル観賞の夕べ」を開催し、150名の来訪者をお迎えしました。

そして今年6月、ホテルの飛翔を見ることを楽しみにしています。

(2) 水辺の遊び場づくりに向けての取り組み

住吉川の整備計画との連携(大阪府岸和田土木事務所)は、住吉橋下流の整備が未了のため継続中であります。そして、要望していた中家住宅の池の改修が実現し、その池をビオトープにしてホテルなどの生物が棲息できる環境に再生・復元させて欲しいと引き続いて陳情しています。平成25年度の住民協働事業提案(団体)に応募し、「川の楽校「子どもホテルンジャー学習塾」の開講を目指して！」が採択され、コンセンサス協議を続けていましたが、元所有者よりの裁判提訴により事業継続不可能となり、やむを得ず事業取り下げということになりました。今後には再提案を引き続いて行う予定であります。

(3) まちづくりトークカフェの開催

住民との協働でまちづくりを実現するため、課題や目標を模索し、必要なテーマを掲げ、議論して、住民の「気づき・学び・交流」から優先順位を見つけ、目標を探ろうと続けています。人と人を結びつけるには、小さなコミュニティを実現することが必要です。

きれいな水、その水がせせらぎとなるビオトープ、ホテルや生物が棲息できる環境づくりを実現する、そのための手本づくりが求められていると考えています。

それが中家のビオトープにゲンジボタルが飛び、まわりに笑顔が溢れることだと思っています。

しかし、中家のビオトープが頓挫し、熊取町とのコンセンサス協議を続けましたが、和田川の清水橋付近の水辺の遊び場づくりも実現が難しい状況に、ある意味で辟易しています。

そのような辟易感からヤル気が失せ、会員の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

(4) 河川のゴミ清掃活動

住吉川や和田川の河原のゴミ清掃活動を始めて5年目に入ります。

本年度は5月27日と10月21日の2回、住吉川の「クリーンアップ作戦」として活動しました。5月27日(日)シルバー人材センター前に29名(五門区5名、紺屋区青年団7名他)が集合し、和田川の清水橋から権左橋までゴミ収集を行いました。可燃ごみ(流木を含む)300kg、粗大ごみ(バイク3・自転車1を含む)200kg合計500kgを回収しました。

10月21日(日)第8保育所前には20名(紺屋区青年団7名が参加)が集合し堰までゴミ収集を行いました。粗大ごみ(バイク・自転車を含む)360kgを回収しました。堀割構造のため搬出困難でクレーン・バイク・TVなどの回収を大阪府岸和田土木事務所に依頼しました。事前に地域に協力要請のチラシを配布し、住民自治会の方からの参加の申し出があり、地元の自治会や青年団の協力も得られるようになりました。

また、住民の方から「有難う」「御苦労さま」の感謝と笑顔が見られるようになったことです。地域協働いきいきネット大阪の掲げる「笑働大阪」の実現に向けて少しづつ近づいている。

(5) 住吉川の水質浄化の活動

住吉川にかき殻と土壌改質培養土FFCエースを投入して水質浄化の社会実験をしています。毎年4回の熊取町の向田橋の水質BOD(生物化学的酸素要求量)は、次の表の通りです。

向田橋	22年度	23年度	24年度
5月	1.1	2.0	4.3
8月	1.8	2.4	2.2
11月	2.2	2.2	1.4
2月	2.2	3.3	2.8
平均	1.8	2.5	2.7

(年度とは、4月から翌年3月)

(BOD値、単位:mg/l)

環境基準値として、10mg/l以下が望ましい。

(6) ホテル観賞の夕べの開催

和田川にゲンジボタルが飛び始めました。「ホテルを見に行こう！」

5月31日夜10時ごろ、暗闇にホテルが1匹飛んでいるのを発見、その後他の場所でも数匹飛んでいました。感激しました。早速チラシを配り6月5日～10日観賞の夕べを19:30～21:00

に開催しました。8日は降雨で中止しましたが、延べ150人を超える方々が見に来られました。

通路や入口には孟宗竹で作ったランタンに火が灯り、幻想的な雰囲気を楽しんでおられました。

(7) 会報『カッパだより』の発行

NPOの活動を住民のみなさんに判り易く理解を得るため、年3回発刊、タブロイド版2ページで、PR活動に注力しています。24年1月号より毎回、2,000部に10号より増刊しています。図書館・煉瓦館・駅下にぎわい館・熊取町役場などに配布と掲示を行い各戸配布もしています。次14号の発行は、5月で、順次来年9月、1月の各1日発刊です。

- (8) 会員の拡大とホテル環境基金への寄付の募金そして認定NPOの資格取得に向けて個人正会員のみなならず、個人の協力会員を拡大することに注力していますが、未だ目標の人数に達していません。今後より一層の努力を続けてまいります。認定NPO法人格の取得に向け、ホテル環境基金の募金を始めました。お陰様でPST(パブリックサポートテスト)の要件(寄付金などの占める割合が、経常収益額の20%以上「相対値基準」)をクリアすることができました。

	2011年3月期	2012年3月期	(単位千円)
寄付金	662	702	
経常収益	866	938	
割合	76.4%	74.8%	

この結果、相対値基準で、7月3日認定申請を大阪府に提出し、書類の審査を受けています。みなさまのご協力となお一層の引き続いてのご支援をお願い申し上げます。

- (9) 阪南市のNPO法人ホテル燦燦会との協働を継続しています。

山中溪の山中川のゲンジボタルの再生・復元活動を行っているNPO法人ホテル燦燦会と事業提携し、自然環境の再生・復元を協力して取り組んでいます。具体的には、FFC普及会を組織しFFC活水器、FFCエースの活用と普及を目指しています。大阪市立吉野小学校のビオトープ(ヘイケボタルの飛翔)、大阪府立西野田工科高校のヘイケボタルの飼育、大阪市福島区のザ・タワー大阪のビオトープづくりなどの活動とファシリテーターとして事業に取り組んでいます。ザ・タワー大阪管理組合の通常総会でビオトープづくりの議案が「継続審議」となり、議決に向けて理事会への働きを続けています。いずれも実現すれば、事業委託請負契約により事業収入が得られると考えています。

- (10) 助成金の申請と選考結果について

- ① 河川環境管理財団 新設市民団体運営支援助成に継続し応募しています。
プロジェクト名:『河川を中心とする水辺環境づくりを担う人材育成と地域への展開・実践』
プロジェクトリーダー: 杉野 隆一
選考結果: 50万円の助成の決定通知。毎年50万円宛/継続4年目
住吉川「バンドウ塾」の開設・運営を通じて
- ② 大阪コミュニティ財団「都会の”すきま”にホテルの生息するビオトープで、協働のまちづくり」活動に助成申請をする。(50万円) 選考結果: 採択。
この基金は「大阪信用金庫ふれあいスマイル基金」から寄せられた助成金です。
- ③ 大阪ボランティア協会 「第4回阪急・阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成に対し活動助成を申請する(50万円) 選考結果: 不採択。

2、会員の状況報告

年度	平成24年度		
会員種別	正会員個人	正会員団体	協力会員
会員数	14人	1社	11人

なお、賛助会員(個人・団体)、特別会員(個人・団体)はありません。

3、会務の状況報告

(1) 総会

名称	開催日	議事案件
第3回通常総会	24.6.24 (日)10時 30分 熊取 町煉瓦館 支援室Ⅱ	・平成23年度事業活動報告並に活動計算書の承認の件 ・平成24年度事業活動計画並に活動計算書の承認の件 ・認定NPO法人の資格取得の申請をすることの承認の件 以上議案は原案のとおり異議なく承認された。 正会員総数18名、出席者数13名(内委任状出席者9名) 定款24条の過半数の出席を得て適法に成立。
第1回臨時総会	24.8.5(日) 10時 熊取 煉瓦館支 援室Ⅰ	・定款の変更申請の件(熊取町へ申請するもの) ・役員を選任の件(役員全員の重任を求める9月15日付) 以上議案は原案のとおり異議なく承認された。 正会員総数14名、出席者数11名(内委任状出席者8名)

(2) 理事会

名称	開催日	議事案件
第1回理事会	24.5.23 (火) 煉瓦館	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度の活動計算書の承認の件 平成24年度事業活動計画並び活動計算案の承認の件 中期目標ビジョンとミッション案の承認の件 以上の案件と事業活動報告を通常総会に提出することの承認を求める件 第4回通常総会の開催(6月24日熊取町煉瓦館)の件
第2回理事会	24.7.24 (火) 煉瓦館	<ul style="list-style-type: none"> 定款の変更申請の件 役員を選任の件 理事長の選任の件(理事による互選により選出) 臨時総会の開催の件 住民協働提案事業川の楽校『子どもホタレンジャー学習塾』の申請の件
第3回理事会	24.10.23 (火) 煉瓦館	<ul style="list-style-type: none"> 助成金の応募申請について 河川環境管理財団、阪急・阪神「未来のゆめ・未来基金」に応募すること 住民協働提案事業川の楽校『子どもホタレンジャー学習塾』採択をうけて、コンセンサス協議について 大阪福島区の「はたるまちプロジェクト」の推進について 住吉川クリーンアップの日程並びに清水橋のスロープなどについて
第4回理事会	25.1.29 (火) 煉瓦館	<ul style="list-style-type: none"> 住民協働提案事業川の楽校『子どもホタレンジャー学習塾』のコンセンサス協議の結果、取り下げることについて 大阪福島区の「はたるまちプロジェクト」の総会での継続審議についてその善後策等について ゲンジボタルの上陸地の土入れ作業について
第5回理事会	25.3.26 (火) 煉瓦館	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度事業活動報告の件 認定NPO法人資格取得の件 住吉川クリーンアップ5月26日(日)清掃作業実施の件 第5回通常総会開催 {6月16日(日)}の件 会報「カップだより」第14号の発刊など

4、事業の実施状況報告

(1) まちづくりトークカフェ

名称	開催日	内容
第40回トークカフェ	24.4.19(木) 14:00～煉瓦館支	講演:『川がきが描き続けた近木川について』 講師:近木川流域自然大学研究会 代表 橋本 夏次氏
第41回トークカフェ	24.9.12(水) 14:00～煉瓦館支援	ワークショップ 『子どもホタレンジャー学習塾の開講を目指して』 松野隆一氏
第42回トークカフェ	24.3.13(水) 14:00～煉瓦館支	講演『こだわり農産物泉州ブランドのお話し』 講師;財泉佐野市自然公園緑化協会 常務理事 福島 征二氏

(2) 会報『カップだより』の発行

第12号	24.9.1	TOPICS;「ホテル観賞のタベ」の開催、認定NPO法人の申請、コラム;信頼されるNPOの7つの条件 住吉川のゴミ清掃ボランティア募集(10/21)など
第13号	25.1.1	TOPICS;認定NPO法人の資格取得のための現地調査、住民協働事業の取り下げ、定款変更の認証、住吉川のクリーンアップ。自宅でビオトープ;ホテル編、ゲンジボタルの上陸。コラム;「子どもホタルレンジャー」活動レポート
第14号	25.5.1 (予定)	通常総会開催(6/16)のお知らせ、TOPICS;河川整備基金助成金の採択、大阪コミュニティ財団、5/26(日)住吉川のクリーンアップゴミ清掃の予告、自宅でビオトープ;ゲンジボタルの飛翔コラム;「ロボットOS」が明日の未来産業としてtwitter;つぶやき

(3) 住吉川にかき殻とFFCエースを投入して水質浄化の社会実験を続けています。

回	実施日	特記事項
第5回	24.4.8	FFCエース10kg投入する(堰)
第6回	24.9.26	FFCエース10kg投入する(堰)

(4) 和田川の木本内科下の公園にカワニナ・ゲンジボタルを放流し続けています。

回	実施日	特記事項
第10回	24.4.8	木本内科下にFFCエース5kg投入し、カワニナ50匹放流する
第11回	24.4.12	カワニナ40匹を永楽池下で採取し放流
第12回	24.7.15 ~30	清水橋下のゲンジボタル13,000匹 (3回に分け)を放流
第13回	24.8.2	木本内科下にFFCエース10kg投入する
第14回	24.9.26	清水橋下にFFCエース10kg投入する
第15回	25.3.21	清水橋下にFFCエース10kg投入する

(5) アドプトリバー向田(くまどり)の美化活動を行いました。(大阪府と協定書を締結しています)

回	実施日	特記事項
第7回	24.4.12	萩の剪定枝(田中幸氏)を片付け、回収依頼(平野氏)
第8回	24.4.30 ~5.12	草刈作業 住吉川沿いの兩岸
第9回	24.8.2	南高梅の葉っぱをウイルス検査提出 (異常なしと報告)
第10回	25.2.19	南高梅の剪定(田中幸氏)枝を片付け、回収依頼(山下氏)

(6) 「川の楽校(子どもホタルレンジャー学習)の開講を目指して!」による住民協働事業について熊取町の住民提案協働事業として採択され、コンセンサス会議を経て具体化するための協議を続けていましたが、中家住宅の池の使用不可、清水橋下の和田川の導入路不可により、結果事業の取り下げを熊取町に申請した。

(7) 中家住宅の池をビオトープ化することについて熊取町教育委員会並びに熊取町文化振興財団に向け、池の改修を陳情していましたが、平成24年1月~2月、改修工事が完工しました。(株)ランドスケープグリーンによる造成と造園デザインにより、水を循環させ、流床式濾過法で水を自然濾過することでコストの削減や生物への配慮がなされています。現在は生物を放流はしていませんが、メダカやゲンジボタルの生息できる環境整備が図られています。今後に進展を期待しています。

以上

貸借対照表

NPO法人まちづくりネット熊取

2013年 3月31日現在

(単位:円)

		<u>資産の部</u>	
【流動資産】			
現金・預金	68,142		
未収入金	2,000		
流動資産合計		<u>70,142</u>	
【固定資産】			
【有形固定資産】			
工具器具備品	186,980		
有形固定資産合計	186,980		
【無形固定資産】			
電話加入権	10,300		
無形固定資産合計	10,300		
固定資産合計		<u>197,280</u>	
資産の部合計		<u>267,422</u>	
		<u>負債の部</u>	
【流動負債】			
短期借入金	1,647,784		
未払金	2,028,082		
預り金	372,293		
流動負債合計		<u>4,048,159</u>	
負債の部合計		<u>4,048,159</u>	
		<u>資本の部</u>	
【正味財産額】			
当期正味財産額	△3,780,737		
(内当期正味財産増減額)	△194,676		
次期繰越正味財産額		<u>△3,780,737</u>	
資本の部合計		<u>△3,780,737</u>	
負債・資本合計		<u>267,422</u>	

活動計算書

NPO法人まちづくりネット熊取

自 2012年 4月 1日 至 2013年 3月31日

(単位:円)

		<u>経常損益の部</u>	
【経常損益の部】			
【経常収益】			
【経常収益】			
正会員受取会費	170,000		
協力会員受取会費	22,000		
受取寄付金(助成と寄付)	506,000		
経常収益合計		<u>698,000</u>	
【経常費用】			
【事業費及び管理費】			
事業費及び管理費合計		<u>853,464</u> * 注記	
経常収支差額		<u>△155,464</u>	
【その他収入】			
【その他収入】			
受取利息	18		
雑収入	5,809		
その他収入合計		<u>5,827</u>	
【その他費用】			
雑損失	45,039		
その他費用合計		<u>45,039</u>	
当期正味財産増減額		<u>△194,676</u>	
当期正味財産増減額		<u>△194,676</u>	
前期正味財産増減額		<u>△3,586,061</u>	
次期繰越正味財産額		<u>△3,780,737</u>	
(注) 前期仮払い消費税を雑損失で処理しました。			

事業費の内訳は次の通りです。

1. トークカフェ費 9,901円
 2. 住吉川委 80,651円
 3. 会報費 86,800円
 4. 水辺の整備費 134,457円
 5. FFC事業費 58,580円
- 合計 370,389円

* 注記 事業費及び管理費内訳書

NPO法人まちづくりネット熊取
自 2012年 4月 1日 至 2013年 3月31日
(単位:円)

法定福利費	37,790
印刷費	54,311
会議費	1,560
旅費交通費	57,280
通信費	183,804
支払手数料	2,930
事務用消耗品費	104,690
新聞図書費	3,615
諸会費	20,900
雑費	16,195
事業費	370,389
事業費及び管理費合計	853,464

第1号議案 II 平成24年度 活動計算報告

財産目録

(平成25年3月31日現在)

(単位:円)

摘要	金額
I 資産の部	
1.流動資産	
現金	64,095
池田泉州銀行熊取支店普通預金	3,424
ゆうちょ銀行418支店普通預金	323
郵便振替	300
未収入金	2,000
流動資産合計	<u>70,142</u>
2.固定資産	
有形固定資産	
工具器具備品	186,980
無形固定資産	
電話加入権	10,300
固定資産合計	<u>197,280</u>
資産合計	<u>267,422</u>
II 負債の部	
1.流動負債	
短期借入金	1,647,784
未払金	2,028,082
預り金	372,293
流動負債合計	<u>4,048,159</u>
負債合計	<u>4,048,159</u>
次期繰越正味財産額	<u>△3,780,737</u>

監査報告書

平成25年5月28日

NPO法人まちづくりネット熊取
理事長 梶野隆一様

NPO法人まちづくりネット熊取
監事 田中幸司

私は、去る5月28日、NPO法人まちづくりネット熊取の平成24年度における会計並びに業務の監査を行いました。以下のとおり報告します。

1、監査の結果

(1) NPO法人まちづくりネット熊取の平成24年度の財務諸表は、一般に公正妥当と認められるNPO法人の会計基準に準拠しており、収支の状況、財政・財産の状態を適正に表示しているものと認める。

(2) NPO法人まちづくりネット熊取の平成24年度の事業報告の内容は真実であり、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上